

運転試験操作手順（リーチ）

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項	
1	乗 車	<p>[注：乗車前のフォークリフトの周囲及び下部の安全確認は省略する]</p> <p>1 左手で車体を、右手は立ち席の背当てを掴み右足から（次に左足を乗せ）乗車する</p> <p>2 キースイッチをONにして電圧その他各計器の作動を確認する。</p>	各 工 程 共 通 事 項	<p>1 ティルトレバーを入れる前にブレーキペダルを踏まない</p> <p>2 発進及び曲がり角進行時に進行方向（左右を含む）の安全確認をする（前後進とも）</p> <p>3 フェンスとの接触、コースから脱輪をしない</p> <p>4 誤動作、前後進のやり直しをしない</p> <p>5 急発進をしない 急ブレーキをかけない</p> <p>6 方向指示器は省略してもよい</p>
2	発 進	<p>1 リフトレバーを手前に倒しフォークを上昇する（地上から5～10cm上迄）</p> <p>2 ティルトレバーを手前に倒しフォークを後傾する（3度以上）</p> <p>3 フォークリフトの周囲の安全を確認する</p> <p>4 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する</p> <p>5 走行レバーを前方に倒しゆっくり発進する</p>		<p>1 リフトより先にティルトしない</p> <p>2 フォークを後傾する（3度以上）</p> <p>3 フォークの高さが高過ぎないか（地上20cm以上）</p> <p>4 フォークの高さが低過ぎないか（地上15cm以下）</p> <p>5 右手で指差呼称確認＝右ヨシ、左ヨシ、後方ヨシ、前方ヨシ</p>
3	①→② 走 行	架 台 ま で の 走 行		<p>1 フェンスとの接触注意</p> <p>2 最徐行</p> <p>3 フォークの先端がフォーク先端基準線の内側にあること（20cm以内）</p> <p>4 積み荷パレットの中心とフォークの左右のずれを少なく（約10cm以内）</p>
		1 ティルトレバーを前方に倒しフォークを水平		1 荷に対してフォークを直角にする

4	取おろし	にする	
		2 リフトレバーを手前に倒しフォークを上昇する(積み取るパレットの差込口高さ迄)	2 マストをティルトしながらリフトしない
		3 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	3 2段取りをする
		4 走行レバーを前方に倒し、ストラドルアームが架台直前にくるまで、ゆっくり前進する。	4 フォークを差し込む時パレットをこすらない
		5 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け停止する(左足をブレーキペダルから離す)	5 フォークを差し込む時パレットを突かない
		6 リーチレバーを前方に倒しフォークを繰り出す(差し込む)フォーク垂直部とパレット端面との間隔を10~20cm空ける	6 架台にフォークリフトを接触させない
		7 リフトレバーを手前に倒し、静かにリフトする	7 リフト時の高さが高過ぎない (パレット下面と架台面までの間隔を10cm以上にしない)
		8 リーチレバーを手前に倒し、パレット荷を引き寄せる(パレット端面を架台端面より10~15cm迄引き出す)	8 荷重のためパレットが下がるが直必要なし
		9 リフトレバーを前方に倒し、パレット荷を架台に置く	
		10 リーチレバーを前方に倒し、フォーク垂直部がパレット端面に接触する迄フォークを繰り出す。(フォークを根元いっぱいまで差す)	9 パレット下面と架台が接触した状態でフォークリフトを移動させない
		11 リフトレバーを手前に倒し、静かにリフトする(架台上5~10cm)	10 フォークでパレットをこすったり、パレットを引きずらない
		12 リーチレバーを手前に倒しパレット荷を手前に引き寄せる(リーチ一杯迄)	11 フォークを根元までさしこむ
		13 左右後方の安全を確認する	12 荷をリフトした時は、常に荷の安定を確認する
		14 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		15 走行レバーを手前に倒しゆっくり後進する(パレット先端もしくはフォーク先端が架台端面より15~20cm迄)	13 パレット先端面がフォーク先端基準線の内側にあること (20cm以内)
		16 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け停止する(左足をブレーキペダルから離す)	14 指差呼称確認=右後方ヨシ、左後方ヨシ
		17 リフトレバーを前方に倒しフォークを下降する(ストラドルアーム上5~10cm)	
		18 ティルトレバーを手前に倒しフォークを後傾する(3度以上)	
		19 左右後方の安全を確認する	

停 止 線 A ま で の 走 行			
5	③→④ 積荷後進走	1 左右後方の安全を確認する	1 指差呼称確認=右後方ヨシ、左後方ヨシ
		2 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		3 走行レバーを手前に倒しゆっくり後進し、④の位置で停止する。	
		4 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛ける（左足をブレーキペダルから離す）	
6	⑤より停止線Aまで 積荷前進走	1 左右前方の安全を確認する	1 停止時の審査基準の詳細は別紙4を参照にすること 2 一旦停止した後に前後の調整走行はおこなわないこと 3 左足をブレーキペダルから離す 4 Aにおける一旦停止時間はおおむね3秒程度 5 指差呼称=右前方ヨシ、左前方ヨシ
		2 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		3 走行レバーを前方に倒しゆっくり発進し、停止線Aまで前進する	
		4 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け積荷の先端が停止位置線A内に入るように、停止線Aで一旦停止する（左足をブレーキペダルから離す）	
7	停止線Aより停止線Bまで 積荷前進走と積荷後進走	停 止 線 B ま で の 走 行	
		1 左右前方の安全を確認する	1 停止線Cの内側まで入れる〔パレットの先端からフェンスまでの距離が離れすぎではないか(20cm以内)〕 2 Cにおける一旦停止時間はおおむね4秒程度 3 Bにおける一旦停止時間はおおむね3秒程度 4 停止時の審査基準の詳細は別紙4を参照にすること
		2 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		3 走行レバーを前方に倒しゆっくり発進し、停止線Cの内側まで前進する	
		4 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け積荷の先端が停止位置線C内に入るように、停止線Cで一旦停止する（左足をブレーキペダルから離す）	
		5 左右後方の安全を確認する	
		6 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		7 走行レバーを手前に倒しゆっくり後進し、停止線Bまで後進する	

		8 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け車体後部が停止位置線B内に入るように、停止線Bで停止する（左足をブレーキペダルから離す）	5 左足をブレーキペダルから離す 6 指差し呼称確認=右後方ヨシ、左後方ヨシ
8	停止線Bより⑩まで 積荷後進走行 積荷前進走行	架 台 ま で の 走 行	
		1 左右後方の安全を確認する	1 パレット先端面がフォーク先端基準線の内側にあること (20cm 以内) 2 指差呼称確認=右後方ヨシ、左後方ヨシ
		2 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		3 走行レバーを手前に倒しゆっくり後進し、⑧の位置で停止する。	
		4 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け停止する（左足をブレーキペダルから離す）	
		5 左右前方の安全を確認する	
		6 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		7 走行レバーを前方に倒しゆっくり発進し、架台前（15～20cm）に正対する	
8 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け積み荷の先端がフォーク先端基準線内に入るように、停止する（左足をブレーキペダルから離す）			
9	積付け	1 ティルトレバーを前方に倒し、フォークを水平にする	1 マストをティルトしたままリフトしない 2 パレットと架台との接触に注意する 3 走りながらリフトやティルトの操作をしない 4 フォークリフト前輪を架台に接触させない 5 2段取りとする 6 荷の安定を確認する 7 フォークを抜くときパレットをこすらないようにする 8 白色テープでマーキングされている（1.20m×1.20m）
		2 リフトレバーを手前に倒しフォークを上昇する（架台上10～15cm迄）	
		3 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		4 走行レバーを前方に倒し、ストラドルアームが架台直前にくるまで、ゆっくり前進する。	
		5 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け停止する（左足をブレーキペダルから離す）	
		6 リーチレバーを前方に倒しパレット端面を架台端面より10～15cm手前迄積み荷を繰り出す	
		7 リフトレバーを前方に倒し、パレット荷を架台に置く	
		8 リーチレバーを手前に倒し、フォーク垂直部から25cm程度残るようにフォークを引き寄せる	
		9 リフトレバーを手前に倒し、パレット荷を上昇する（架台上5～10cm）	
		10 リーチレバーを前方に倒し、パレット荷を積付	

		け位置へ繰り出す	
		11 リフトレバーを前方に倒し、パレット荷をゆっくり架台上に下降する	9 定位置の枠から出ないようにする
		12 リーチレバーを手前に倒しフォークを引き寄せる（パレットに当たらないようにリーチ一杯迄）	10 荷の安定を確認する
		13 左右後方の安全を確認する	11 フォークがパレットをこすらないようにする
		14 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	12 フォークの先端がフォーク先端基準線内にあること (20cm 以内)
		15 走行レバーを手前に倒しゆっくり後進する（真直ぐ後進、積荷前 15～20cm 迄）	13 フォークを下降する前にティルトしない
		16 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け停止する（左足をブレーキペダルから離す）	14 指差呼称確認＝右後方ヨシ、左後方ヨシ
		17 リフトレバーを前方に倒しフォークを下降する（地上から 5～10cm 上迄）	
		18 ティルトレバーを手前に倒しフォークを後傾する（3度以上）	
	スタート地点までの走行及び停止と下車		
10	⑪→⑫ 後進 走行 ゴール 停車 下車	1 左右後方の安全を確認する	1 指差呼称確認＝右後方ヨシ、左後方ヨシ
		2 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	2 発進時フォークの高さが高過ぎないか（20cm 以上）
		3 走行レバーを手前に倒しゆっくり後進し、スタートの位置で停止する	3 停止位置不良（前後 30cm 以上左右 10cm 以上。白線で明示する）
		4 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け停車位置内に車体を正対して停止する（左足をブレーキペダルから離す）	4 飛び降りない
		5 ティルトレバーを前方に倒しフォークを前傾する（一杯迄）	5 左足より降りる
		6 リフトレバーを前方に倒しフォークを下降する（フォークの先端が接地する迄）	6 標準時間の5分を越えないように
		7 キースイッチをOFFにして電圧その他各計器の停止を確認する	
		8 左手で車体を、右手は立ち席の背当てを掴み足元の安全を目視で確認し左足から降車する（右足元の安全を確認し右足を下す）	